

LEDスポットライトサイン用フランジ付きアーム

品番	表面処理	塗装色	取付場所
DYDX (H) 4087	溶融Zn-Al-Mg	シルバーメタリック	壁面
DYDX (H) 4088	合金メッキ後塗装	ミディアムグレーメタリック	

※上記()内は加工品番です。(上記の内容は標準品番の仕様です。以降、加工品番の記載を省略します。)
※適合器具は、器具承認図及び取扱説明書を確認してください。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

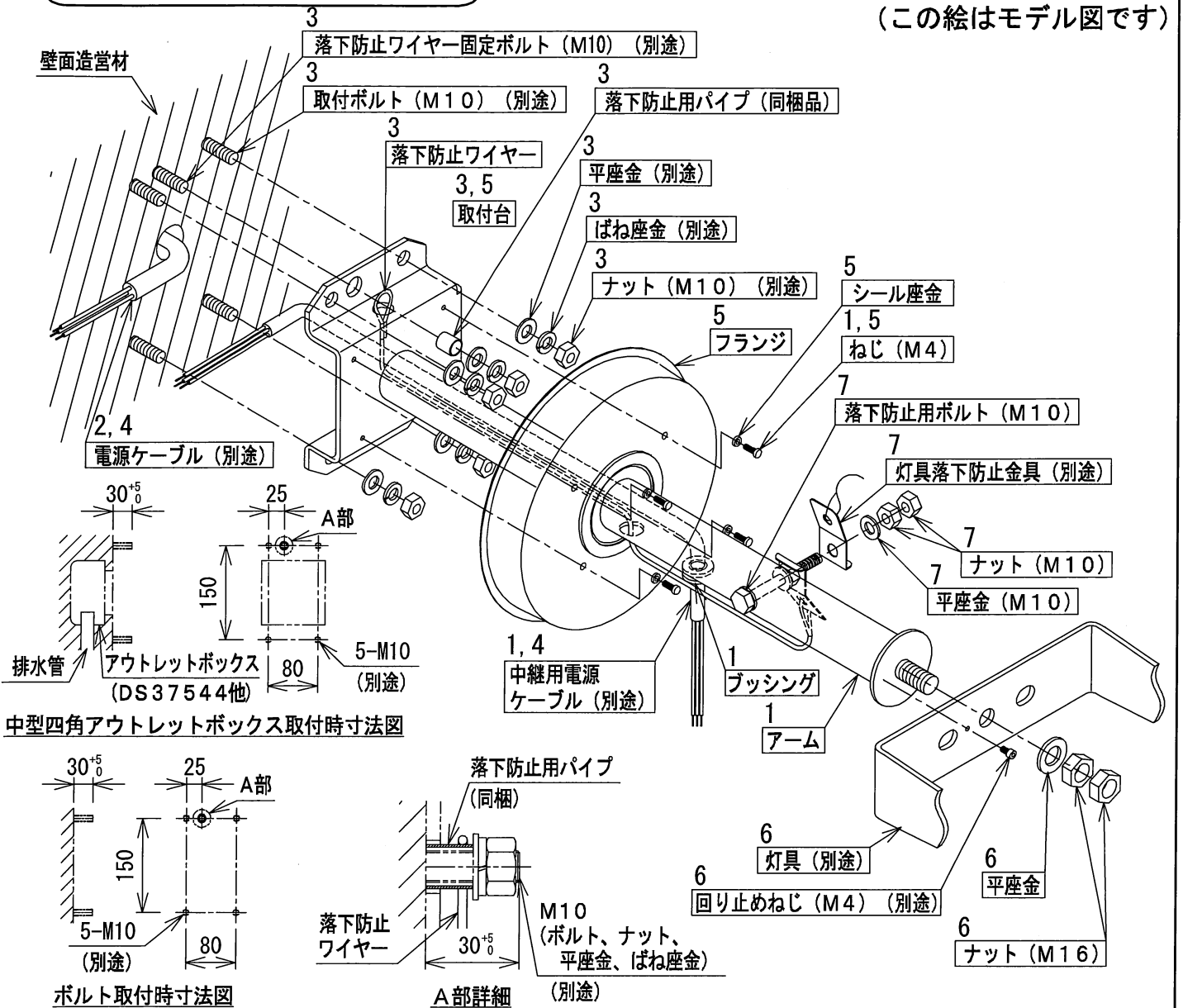
- 施工は施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災・アーム折れの原因となります。
- 接地工事(D種接地工事)を確実に行う。
取り付ける灯具には個別に接地工事を行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造や架空配線、適合照明器具以外のものの取り付けは、絶対に行わない。
発火・感電・落下・アーム折れの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所(橋や高架上等)、腐食性ガスの発生する場所、浴室、屋内プール、
粉塵の多い場所等では使用しない。
発火・感電・落下・アーム折れの原因となります。
- 壁面及び基礎は事前に取り付ける灯具を確認のうえ、長期に渡って十分な強度を有するもの
を用意する。
強度が不十分な場合はアーム落下の原因となります。
- 電源線の接続は確実に行う。
接続に不備があると、感電・火災の原因となります。
- 単線とより線は直接接続(ねじり接続など)しない。必ず専用工具で圧着する。
接続に不備があると、感電・火災の原因となります。
- 口出し線との接続はスリーブなどにより確実にいき、自己融着テープを巻いてから、
絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。また、活線作業をしない。
接続に不備があると、感電・火災の原因となります。
- 中継用電源ケーブルはCVまたは2P NCTの電線を使用する。
(適合中継用電源ケーブル径: $\phi 10.6 \sim \phi 13.0$ mm)
指定外ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
- 落下防止ワイヤーを取り外すなどの分解はしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 適合埋込みボックスを使用して取り付ける場合は、排水管処理工事を行う。
浸水による、落下・感電・火災の原因となります。

注意

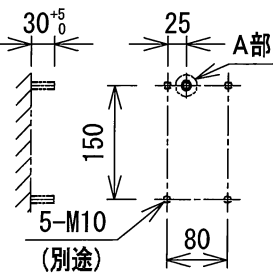
- 60m/s仕様です。必ず適合器具と組み合わせて使用してください。
器具側の承認図を確認してください。
器具落下の原因となります。
- 耐風圧性能は設計風速、使用する灯具、アーム、ポール及び基礎の大きさに決まります。
事前に強度確認のうえ使用してください。
- アームは2°上向きに角度がつけられています。
必ず地上面に対しアームが上向きになるように取り付けてください。
地上面に対し下向きに取り付けた場合は、雨水がアーム内に入る恐れがあります。
地上面に対し下向きに取り付けた状態で浸水すると感電・火災の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。
けがの恐れがあります。

各部の名前と取り付けかた

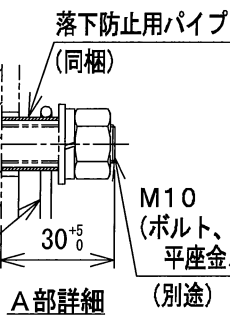
(この絵はモデル図です)



中型四角アウトレットボックス取付時寸法図

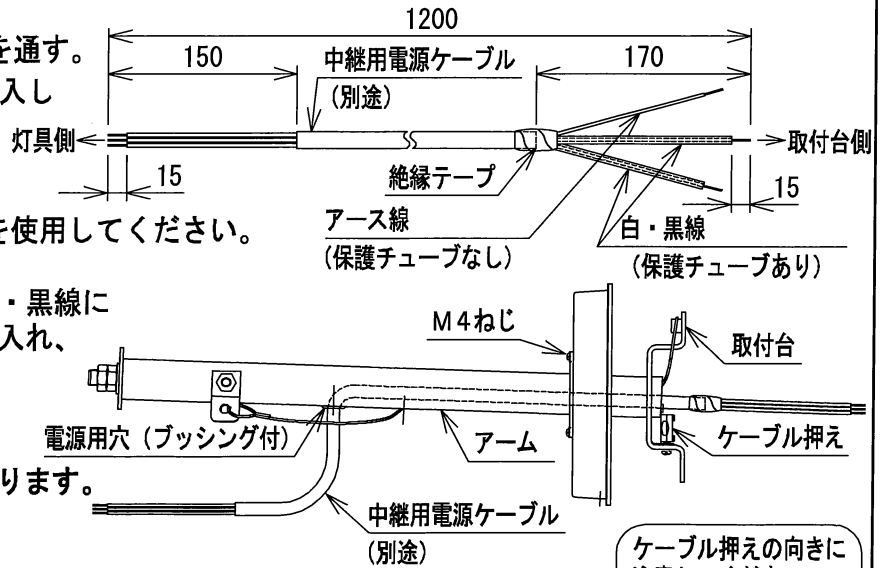


ボルト取付時寸法図



※施工前に、器具重量に十分耐えるよう、取り付け部の強度を確保してください。

- アームに中継用電源ケーブル (別途) を通す。
 - 中継用電源ケーブルをブッシングから挿入しアーム内を通して取付台側へ出す。
 - 中継用電源ケーブルはCVまたは2PNCTの3芯丸型ケーブル (2mm²、3.5mm²、長さ1.2m) を使用してください。(外径φ10.6~φ13.0mm)
 - 中継用電源ケーブルの170mm側の白・黒線に保護チューブ (同梱品) を2本、根元まで入れ、絶縁テープで固定する。
 - アース線には保護チューブを取り付けしないでください。不備がありますと感電・火災の原因となります。
 - 中継用電源ケーブルのシース部をケーブル押さえで固定する。(ケーブル押さえ締付トルク: 0.8~1.2N・m) (ケーブル押え量: ケーブルの1/4程度) 不備がありますと感電・火災の原因となります。
 - フランジのねじ (M4) 4本を外す。

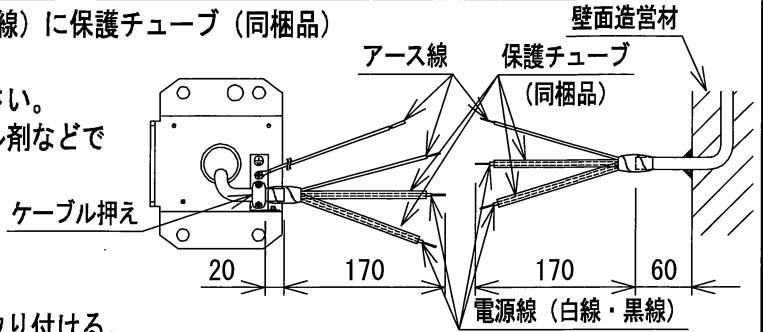


ケーブル押えの向きに注意してください。

良 ○ 誤 ×

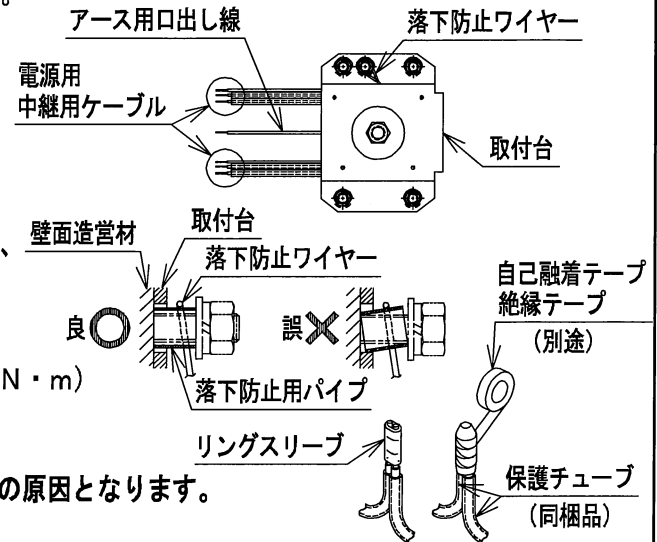
2. 壁面造営材側電源ケーブル（別途）の電源線（白・黒線）に保護チューブ（同梱品）を2本、根元まで入れ、絶縁テープで固定する。

- ・アース線には保護チューブを取り付けしないでください。
- ※壁面から直接電源線を出す場合は、必ず防水シール剤などで壁面出口の穴を埋めてください。



3. 取付台および落下防止ワイヤーを取り付ける。

- ・電源線、中継用ケーブル、アース用口出し線を取付台の外側に引き出す。
- ・造営材側の取付ボルト（M10・別途）に取付台を取り付ける。
- ・造営材側の取付ボルト（M10・別途）は平座金（別途）・ばね座金（別途）・六角ナット（M10・別途）を使用して確実に締め付けてください。（締付トルク：24N・m）締め付けが不十分な場合は、灯具落下の原因となります。
- ・造営材側の落下防止ワイヤー固定ボルト（M10・別途）に落下防止ワイヤーを取り付ける。
- ・落下防止用パイプ（同梱品）は取付台にはまるように取り付け、ワイヤーを取付台の穴から通し、落下防止パイプ（同梱品）、落下防止ワイヤー、平座金（別途）、ばね座金（別途）の順に落下防止ワイヤー固定ボルト（M10・別途）に挿入し、六角ナット（別途）を工具で締め付ける。（締付トルク：24N・m）
- （注）締め付時、落下防止用パイプと平座金との間に落下防止ワイヤーを挟まない様にご注意ください。

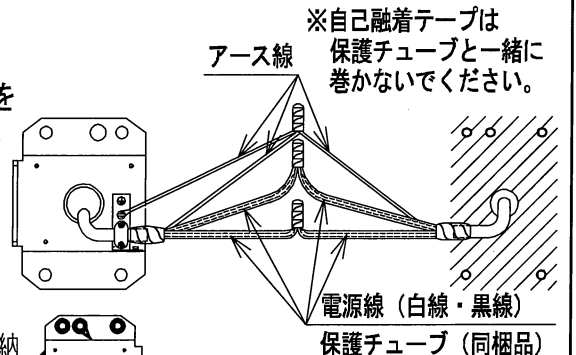


取り付けがされていない場合や締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。

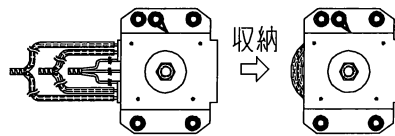
4. 電源線・アース線を接続する。

壁面造営材側電源ケーブルと中継用電源ケーブルの電源線・アース用口出し線を接続する。

- ・電源線とアース線をスリーブ等により確実に接続し、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。不備がありますと浸水による感電・火災の原因となります。
- ・アース線にてD種（第3種）接地工事を確実に行う。接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- ・電源線との接続は電気設備基準の省令第7条、及び同解説第12条に従ってください。
- ・接続した電源線、中継用電源ケーブルおよび、アース線を取付台の内部に収納する。



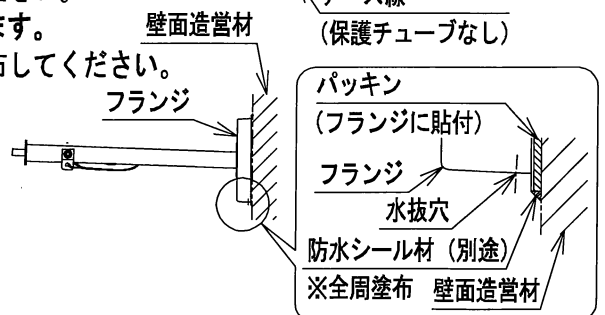
※自己融着テープは保護チューブと一緒に巻かないでください。



5. フランジを取付台に取り付ける。

フランジをねじ（M4）・シール座金を用いて取付台に取り付ける。

- ・ねじ（M4）は締付トルク1.0N・mにて確実に締め付けてください。ねじの締め付けが不十分な場合は、浸水による感電の原因となります。
- ・必ず、フランジと壁面造営材の取付面は全周、防水シール剤を塗布してください。不備がありますと浸水による感電・火災の原因となります。



6. 灯具（別途）をアームに取り付ける。

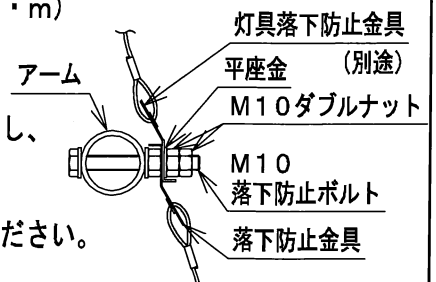
灯具をナット（M16・2ヶ）・平座金を用いてアームに固定する。

- ・灯具の照射方向を設定し、ダブルナット（M16）にて締付トルク73N・mで確実に締め付けて固定してください。ナットの締め付けが不十分な場合は、灯具落下の原因となります。
- ・回り止めねじ（M10・別途）を確実に締め付ける。（推奨締付トルク：1.0N・m）ねじの締め付けが不十分な場合は、灯具落下の原因となります。

7. 灯具落下防止金具（別途）をアームに取り付ける。

アーム側面の落下防止用ボルト（M10）からナット（M10・2ヶ）・平座金を外し、灯具落下防止金具をボルト（M10）に挿入後、ナット（M10・2ヶ）・平座金でアーム蓋に固定する。

- ・ダブルナット（M10）にて締付トルク37N・mで確実に締め付けて固定してください。ナットの締め付けが不十分な場合は、灯具落下の原因となります。



各部の名前と取り付けかた（つづき）

8. 灯具の電源線を接続する。
- ・電源線・灯具口出し線・アース線を接続する。
 - ・詳細は灯具の取扱説明書を確認してください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- アームを改造しない
アーム折れ・器具落下の原因となります。
- アームを故意にゆすったり、アームに衝撃を加えたりすることは絶対に行わない。
アーム折れ・落下事故の原因となります。
- アームにぶら下がったり、上に登ったりすることは絶対に行わない。
アーム折れ・落下事故の原因となります。
- 異常状態のままで使用しない。
万一、塗装がはげている状態やアームの腐食が著しい状態等、異常状態のままで使用するとアーム折れ・落下の原因となります。
すぐに工事店に修理を依頼してください。



注意

- アーム内への配線工事は、必ず工事店・電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の施工は、法律で禁止されています。
- お手入れの際は、灯具の取扱説明書の指示にしたがってください。
感電・火災・灯具落下等の原因となります。
- アームには耐用年限があります。
使用環境によるストレスにより腐食や金属疲労等の劣化は進行しています。
点検・補修・交換してください。
 - ・塩害地域、植栽のなかに設置の場合などは耐用年限が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
(チェックシート番号：CLX2021MA)
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに折れ・落下に至る場合があります。
 - ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。

保証について

- 1：保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログを確認してください。
- 2：保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

■リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX)

KK0423-030426